

第3回 野洲市総合計画審議会 会議結果の概要

日 時：平成23年4月27日（水）午後2時30分～午後5時20分

場 所：野洲市市民活動支援センター ホール

出席委員：24名（欠席委員5名）

1. 開会

2. 市長あいさつ

東日本震災については、野洲市からも義援金や物資の提供、保健師等職員の派遣など、できる限りの支援を行っている。

今年の野洲市の課題として、総合計画をはじめ、環境基本計画や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画も見直し時期に来ている。見直しによって、書いただけの計画ではなく、掲げたものを着実に実現していく計画にしたいと考えている。

また、幼保一元化や、都市計画の区域の見直し、竹生地先での宅地開発など、地域にさまざまな動きがあるので、最大限情報を委員に開示して、その上で議論していただきたい。

3. 委員の交代について

野洲市自治連合会会長の改選に伴い、鍛冶委員から吉川委員に交代された。

4. 人事異動に伴う事務局職員紹介

5. 審議事項(資料1)

①素案「第1章 計画策定にあたって」について

*見直しの背景として、第一次総合計画が抱える課題(目指すべき将来像の具現化や市民との情報共有の不足)を明確に記述した。

*全体として装飾的な言葉を省き、文章を簡潔にしている。

<主な意見等>

*文章全体について、市民がわかりやすく、想像しやすい表現にしてほしい。

②素案「第2章 野洲市を取り巻く社会的背景」について

*各項目に本文の内容に合わせたサブテーマを設定した。

③素案「第3章 野洲市の現状と課題」について

*現行計画の第3章と第4章をひとつにまとめて整理している。

*面積や人口・世帯等の数値は最新のデータに置き換えている。

*現行計画では「まちづくりへの取り組み」が他の項目と比べて大きく取り上げられているが、全体のバランスを考えて、文言を要約した。

*合併時のアンケート結果については、調査から時間がかなり経過しているため、削除した。

*「現状と課題」については、各分野の説明の記載を箇条書きにし、読みやすくなるよう工夫した。

*環境分野はハード整備の面が強く、都市基盤と結びつくところがあるため、産業と環境の項目の順番を入れ替え、環境から都市基盤へつながるような項目立てにすることを検討している。

<主な意見等>

- * アンケート結果を使わないとしても「住み続けたいまち」と感じる市民意識に関する項目は必要なのではないか。
- * 環境分野について、太陽光発電システムの設置など自然エネルギーに関する取り組みを追加してはどうか。
- * 産業分野の課題として「地産地消」の取り組みを追加してはどうか。
- * 広域的な連携の視点を取り入れてはどうか。

④素案「第4章 将来都市像～めざすべきまちの姿～」について

- * 将来都市像の事務局案として「賑わいと安らぎのあるまち～野洲の元気と安心をもっと～」を提案している。

<主な意見等>

- * 現行計画の「豊かな自然と歴史に彩られ」という部分は削除しないで残すべきではないか。

⑤素案「第5章 まちづくりの基本方針」について

- * 大きなまちづくりの方向性を示すため、ひとつの章として独立させた。

⑥素案「第6章 まちづくりの指標」について

- * 人口推計等は精査した後、最新のデータに置き換える。
- * 軸や拠点による土地利用の考え方を改め、ゾーニングによる整備方針をまとめた。

<主な意見等>

- * 「コンパクト」という表現があるが、野洲市はゆとりのまちであることが長所なのではないか。→まちを小さくするというよりも機能を集積するという趣旨である。
- * ゾーニングの行き過ぎを抑制する配慮が必要である。

6. 協議事項

①市民懇談会について(資料2)

- * 市民懇談会はワークショップ形式ではなく車座形式での開催を検討している。

<主な意見等>

- * 市民懇談会は学区別に開催されるということだが、自分の住む学区でなくても参加できるようにしてほしい。→当該学区の市民が優先されるが、特に制限はしない予定。

②部会の設置について(資料3・4)

- * 4つの部会の設置、部会長、副部会長の承認。

<主な意見等>

- * 都市基盤についてはいずれの分野にも関連するため、どの部会でも話題にできるようにしてほしい。→そのように明記する。

7. その他(参考資料)

駅前土地買取可否内部検討会議・市民懇談会について報告。

8. 日程調整

次回(第4回)審議会は5月26日(木)午後2時を予定。

9. 閉会